

「原子力安全推進協会」の設立にあたって

平成24年11月15日
電源開発株式会社
社長 北村 雅良

本日、福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、シビアアクシデント対策を含む原子力発電所の安全性を一層向上させることを目的に、「原子力安全推進協会」が設立されました。

同協会は、独立した立場と強い指導力のもと、国内外の安全性向上に関する最新知見を収集・分析し、事業者における安全性向上活動を技術的に評価するとともに、事業者に対し提言や支援を行います。

当社は、同協会の果たす役割は極めて重要なものと考えており、現在建設中の大間原子力発電所について、同協会からの提言等を真摯に受け止め、また、常に最新の知見等を取り入れることにより、世界最高水準の安全性を不断に追求してまいります。

【参考】「一般社団法人 原子力安全推進協会」の設立について

以上

「一般社団法人 原子力安全推進協会」の設立について

1. はじめに

昨年3月に発生した福島第一原子力発電所事故を踏まえ、シビアアクシデント対策を含む原子力発電所の安全性を一層向上させることを目的に、この度一般社団法人日本原子力技術協会は解消し、これまで培ってまいりました知見・ノウハウを有効に活用し、より高度な安全性を目指して事業者をけん引していく一般社団法人 原子力安全推進協会を新たに設立いたしました。

2. 原子力安全推進協会のミッションと活動のポイント

原子力発電所の安全性向上のためには、事業者自らが、自主的かつ継続的に安全性向上に取り組み、世界最高水準の安全性を不断に追求することが必要です。また、この安全性向上活動が、事業者の独りよがりにならず、絶えずこれを別の立場で評価する仕組みがなくてはなりません。

原子力安全推進協会は、技術評価において事業者の意向に影響されない独立性の仕組み・体制を構築し、事業者に対して客観的に評価、提言・勧告を行うとともに、それに基づき事業者の原子力安全性向上活動の支援を行うことで、我が国全体の原子力安全レベルを引き上げていきます。

ミッション：日本の原子力産業界における、世界最高水準の安全性の追求 ～たゆまぬ最高水準（Excellence）の追求～

仕組み

① 技術評価の独立性

技術評価の独立性確保

技術評価や提言・勧告の判断は原子力安全推進協会代表の専決事項とし、事業者の意向に左右されない技術評価を行います。

提言案の策定

原子力安全推進協会

代表からの提言

② 事業者社長のコミットメント

事業者社長会議の設置

事業者の全社長が出席する「事業者社長会議」において、原子力安全推進協会代表から直接、社長へ提言・勧告を行い、改善策実行の約束を引き出す仕組みとします。また、提言・勧告を受けた社長だけでなく、他の社長も課題を共有し、お互い切磋琢磨することで業界全体としてのレベルアップを図ります。

③ 海外機関との連携

技術評価委員会

過酷事故や確率的な安全評価等の各分野をリードする海外の専門家を迎え、事業者に対する提言・勧告のレビューを受けます。

日常業務における海外連携

安全性向上活動、ピアレビュー等の業務について、海外の技術者を迎え、意見交換します。

国際アドバイザー委員会

WANO^[*]等の海外機関・海外事業者の最高責任者クラスと、原子力安全性向上のために組織の経営全般や必要な連携分野等についての意見交換し、価値観の共有を図ります。

[*] WANO：世界原子力発電事業者協会

経営に関わる
意見交換

取り組み

安全性向上対策の評価と提言・勧告および支援

国内外の最新情報を収集・分析し、各事業者がエクセレンスを目指して取り組むよう、原子力安全レベルを引き上げていくための提言を行います。
喫緊の課題としては、シビアアクシデント（設計基準を超え重大な炉心損傷を起こす事故）対応を最優先で進めることとしますが、今後は設計基準を超えない事象にも取組の範囲を拡大していく予定です。

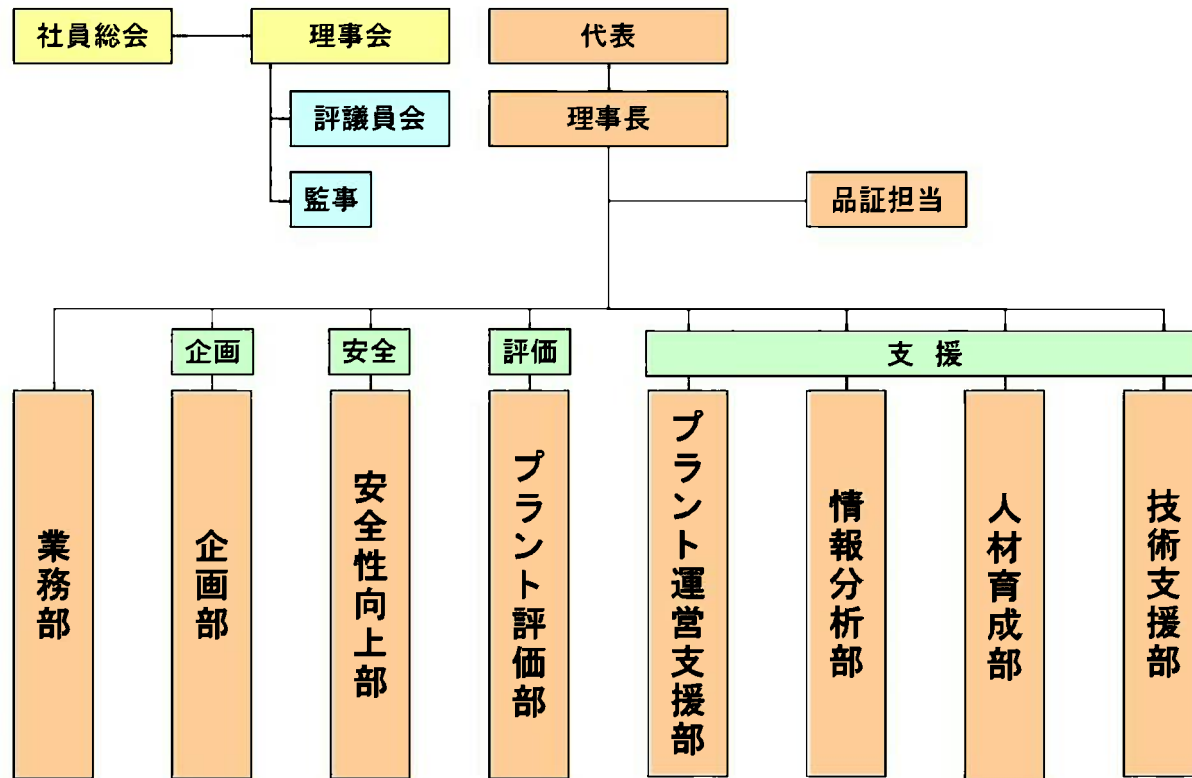
原子力施設の評価と提言・勧告および支援

原子力施設の運営状況を定期的に行うピアレビューやテーマ別レビューにより確認し、最優良事例を踏まえて発電所等の運営状況や設備の状態、安全文化の健全性や改善への取り組みを評価し、それぞれのレベルを引き上げるための提言、支援を行います。
また、発電所に対し連絡代表者を定期的に派遣し、発電所幹部とのコミュニケーション、他発電所での良好事例の紹介などを通じて発電所に対する支援を行いレベルアップを図ります。

その他関連業務の推進

左記を支えるための諸活動（トラブル情報分析、規格基準作成、人材育成等）を行います。

一般社団法人 原子力安全推進協会の組織図



原子力安全推進協会の経営体制のお知らせ

本日、三田NNホールにて、社員総会に引き続きまして、一般社団法人原子力安全推進協会としての第一回理事会が開催されました。

その結果、松浦祥次郎氏の代表就任が承認され、下記の新しい経営体制のもとで協会活動を進めていくこととなりましたので、お知らせいたします。

記

【理事】

代表	松浦 祥次郎	(代表理事)
理事長	藤江 孝夫	(代表理事)
理事 企画部長	成瀬 喜代士	
理事 業務部長	福田 昭夫	
理事 人材育成部長	久郷 明秀	
理事	岩根 茂樹	(関西電力株式会社 取締役副社長)
理事	大内 学	(公益社団法人日本航空機操縦士協会会長 元 全日空専務取締役 執行役員運航本部長)
理事	大野 智彦	(中部電力株式会社 代表取締役副社長)
理事	羽生 正治	(株式会社日立製作所 執行役常務 電力システム社原子力担当CEO)
理事	深堀 慶憲	(九州電力株式会社 代表取締役副社長)
理事	正森 滋郎	(三菱重工業株式会社 代表取締役常務 執行役員 原子力事業本部長)
理事	横山 速一	(一般財団法人電力中央研究所 常務理事)

【監事】

監事	岡村 潔	(株式会社東芝 執行役常務 電力システム社 原子力事業部長)
監事	常松 睦生	(原子燃料工業株式会社 顧問 元 執行役員品質安全管理室長)

なお、平成24年度事業計画については以下のホームページにて紹介致します。

原子力安全推進協会へのアクセス

URL : <http://www.genanshin.jp/>

【連絡先】 一般社団法人 原子力安全推進協会
業務部 大西 TEL 03-5440-3601 (代)、
FAX 03-5440-3606